



「健康コラム」

病気と予防のお話し ～JCHO 船橋中央病院から～

第3回 貧血のはなし

血液内科 深澤 元晴 先生

貧血と聞くと、立ちくらみを思い浮かべる方もいらっしゃると思いますが、それは脳貧血（起立性低血圧）と言って貧血とは関係ありません。貧血は体の中の赤血球（血液の赤みの成分）が減った状態を指します。貧血が進むと「疲れやすい」「だるい」「めまい」「息切れ」「頭痛」「肩こり」「食欲がない」「顔色が悪い」などの症状が出てきます。

女性の方では、以前から月経のために軽度の貧血があり、あまり気にしていない方もいらっしゃると思いますが、重大な病気（胃がん、大腸がん）が隠れていることがあります。特に高齢の方、男性の方は、健康診断で血液検査を定期的に受けることをお勧めします。又、ごく稀に白血病などの血液疾患が見つかる場合もあります。JCHO 船橋中央病院には、血液内科専門医が複数名おり、貧血に対する的確な判断ができます。地域の皆様で、もし心配なことがありましたら、一度相談にいらして頂けたらと思います。